

# 対馬の息吹を感じながら 国境の風になる

第13回 国境マラソンIN対馬



7月5日、対馬の夏を代表するスポーツイベント、「国境マラソンIN対馬」が開催され、韓国からの参加128人も含め、地元対馬、九州、関西、北海道、遠くは、カンボジアなどから1165人が出場しました。

今年で13回目を迎えた大会は、日本の渚100選に選ばれた上対馬町の三宇田浜海水浴場をスタート・ゴールに出場者の健脚が競われました。

まず、競技開始に先立って開会式が行われ、比田勝中3年の木村賢介君が「対馬の自然と人の温かさを感じながら走りたい」と力強く選手宣誓をしました。

競技は、ハーフマラソン、10キロ、5キロ、3キロ、2キロなど、6種目22部門があり、小学4年生から一般男女まで、幅広い年代で参加することができます。

沿道では、ボランティアの方々给水ポイントでランナーをサポートし、選手を応援しようと地元住民の方々も大勢かけつけました。

今大会スローガン「対馬の息吹を感じながら国境の風になる」の通り、1165人が、国境の風になった一日でした。

**ハーフマラソン一般男子** 39歳以下(高校生以上)の部

優勝 川下和明さん 1時間12分45秒

**ハーフマラソン一般女子** (高校生以上)の部

優勝 近宗 操さん 1時間29分41秒



沿道からの声援



力走する選手



選手宣誓をする木村君